

令和4年度 保健 a シラバス (保健体育)

学番 28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科 (科目)	保健 a	単位数	1 単位	学年	1 年次
使用教科書	現代高等保健体育 (株式会社 大修館書店)				
副教材等	現代高等保健体育ノート (株式会社 大修館書店)				

1 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質、能力を養う。

2 指導の重点

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに技能を身につけるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考、判断すると共に目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

3 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	現代社会と健康	現代高等保健体育ノート	1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた	健康の考え方、健康を成り立たせる要因を学習する。 わが国の健康水準、健康問題について学習する。	3	授業の取組 出席状況 課題等の提出 考査成績
5			3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの予防と回復	がんを含む生活主管病について、種類、要因、治療、一次・二次予防について学習する。	6	
6			6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	食事、運動、休養など、健康的な生活習慣について学習する。		
7			9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	喫煙による自他の健康への影響、飲酒や薬物乱用の健康への影響と社会問題、対策について学習する。	4	
9			12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	精神史間の要因、症状、治療回復、予防について、また社会環境の課題を学習する。	4	
10			15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	エイズ等性感染症を含む様々な感染症の感染要因、症状、潜伏期間、感染力、予防対策について学習する。	4	
11			18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	意思決定・行動選択に影響を与える個人的要因や社会環境、健康に関する適切な意思決定・行動選択への工夫について学習する。 ヘルスプロモーションに基づく環境作りについて学習する。	4	

12	安全な社会生活	現代高等保健体育ノート	1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	事故の実態、要因について、予防、回避のための行動や、社会環境の整備について学習する。 交通事故における責任について学習する。	4
1			4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	応急手当や心肺蘇生法の意義を学習する。 傷病者発見時の確認観察要領、応急手当や心肺蘇生法の実践要領について学習する。	3
2 3			22 応急手当の意識とその基本 23 心肺蘇生法	応急手当の手順を身につけることで実践できる能力を養う。 心肺蘇生法の意義と原理を理解し、正しい手順を理解する。	3

計 35 時間 (50 分授業)

4 課題提出物等

<ul style="list-style-type: none"> 現代高等保健体育ノート・授業ノート (各考查時) 課題プリントや授業時のワークシート (適宜) 課題レポート (必要時)
--

5 評価規準と評価方法

評価は次の3観点から行います。		
関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
健康の保持増進に向け、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であり、それらに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康の保持増進に向けた課題解決を目指して、総合的に考え、個人で意志決定・行動選択し、習得した知識を活用している。	健康の保持増進に向けた課題解決に役立てるため、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことについての基礎的な事項を理解している。
以上の観点を踏まえ		
<ul style="list-style-type: none"> 出席状況及び授業の取組 (関心・意欲・態度) ワークシートや提出物の記述内容 (思考・判断) 各考查結果 (知識・理解) 		などを評価します

6 担当者からの一言

<p>「保健」という科目は「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間の授業が行われます。現在、国内の健康志向の高まりとともに連日マスメディア等で大きく取り上げられています。そのような状況において、私たちは正しい情報を取り入れ、適切な生活行動を選択していくことが求められています。「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常の生活の中の課題を見つけ出し、解決方法を導き出すことができるよう授業を展開します。</p> <p>生きていく上で最も重要なものの一つは健康です。「体の健康」「心の健康」に目を向けましょう。 (担当：小野塚 慶一、八藤後 雅則)</p>
--